

## ～Shin～

やることをやめてしまうこと

11月29日

## さあ、これから

総合型選抜・学校推薦選抜入試があり、進学先が決定した人もいますが、いよいよ一般選抜入試が1月末から行われます。今まで受験勉強をしてきて『しんどいなあ、つらいなあ』という気持ちがあると思います。また、模試の結果も出て、焦りや不安がある人もいると思いますが、今までやってきたことを信じて受験勉強を継続していきましょう。君たちがやってきた努力が結果として現れてくるのはこれからです。共通テスト・一般選抜入試に向けてもうひと踏ん張り!45回生みんなで頑張りましょう。

また、大学入学共通テスト・一般選抜入試の当日の朝は、誰も不安になったり緊張したりするものです。試験に万全の態勢で臨むための準備と注意点を確認しておきましょう。

当日の注意点については、受験案内や受験票、受験票と一緒に送付される「受験上の注意」にも書かれていますので、しっかり読んでおきましょう。

## まずは、体調管理はしっかり!

入試の時期は風邪などで体調を崩しやすい時期です。ワクチン接種をしたり、こまめなうがい・手洗い、十分な睡眠・食事をして、日頃の体調管理にも気を配りましょう。試験前日に普段と違う生活や食事をするのはかえって体調を崩してしまうので注意しましょう。

試験前日、準備が完了したらできるだけ普段どおりの生活をしましょう。緊張して寝つけなくても、暗い部屋で横になって目をつぶっているだけでも体は休まります。

試験当日も緊張を感じたら、まずは深呼吸。鼻から吸って口で吐くと、緊張がほぐれます。温かい飲み物など、気持ちが落ち着くアイテムを用意しておくのもひとつの手です。

緊張しているのはみんな一緒です。今までがんばってきたことを思い返して、自信をもって試験におきましょう。

## 持ち物の確認 ～前日と当日に確認をしよう～

持ち物は早めに準備して、鉛筆等不足がある場合は買い足しておきましょう。忘れ物がないように、前日と当日の朝に確認をするようにしましょう。

## \*持ち物チェックリスト

- 1 受験票・写真票
- 2 「受験上の注意」(大学入試センターより受験票と同送)
- 3 生徒(身分証明)証
- 4 黒鉛筆(H、F、HBに限る) 10本程度 (マーク方式)
- 5 プラスチック製消しゴム(大きめのものを複数)
- 6 鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類を除く)
- 7 時計(アラームを消すこと・スマートウォッチ不可)

8	携帯電話（電源・アラームを消すこと）
9	交通費（少し余分に）
10	試験場までの地図
11	お弁当・飲み物
12	ハンカチ・ティッシュ・マスク
13	受験票に「上履き持参」とあれば上履きと下履きを入れる袋
14	参考書
15	（必要に応じて）眼鏡・目薬
16	（必要に応じて）カイロ・ひざ掛け・座布団
17	（必要に応じて）雨具
18	（必要に応じて）リラックスグッズ（お菓子など）

持ち物チェックリストです。まずは 1 の受験票・写真票がないと始まりません。受験票と写真票は切り離さず持参してください。万が一、試験間際に受験票を紛失してしまった場合（再発行が間に合わない場合）、早めに試験場に行き「仮受験票」の申請をする必要があります。本人確認をするために、生徒手帳などの提示を求められますので、3 をあわせて持参するようにしましょう。

2 「受験上の注意」は、大学入試センターから受験票などとともに送付されてきます。受験票・写真票の取扱いなどのほか、共通テストの時間割、試験当日の注意事項など、当日役立つことが載っています。事前に目を通しておくだけでなく、試験当日に所持していると安心でしょう。

4 ～ 7 は試験中に机の上に置けるものです。黒鉛筆は7～10 本程度は用意したいものです。鉛筆削りを使用することが認められていますが、試験中にその余裕はありません。また、シャープペンシルはメモや計算用に用いることが認められています。しかし、マークシートを塗る際は鉛筆に持ち替える必要があり、時間のロスや持ち替え忘れのミスにつながりかねません。できるだけ、黒鉛筆のみで試験に臨むことをお勧めします。マークシート用の鉛筆・消しゴムも販売されていますので、活用してみるのもよいでしょう。

7 の時計は、「スマートウォッチ」「辞書や電卓、端末等の機能があるもの」「秒針音のするもの」「キッチンタイマー」「大型のもの」は認められていません。また、8 の携帯電話とあわせてアラームの設定は出かける前にはリセットしておきましょう。

11 のお弁当や飲み物はできれば普段から食べ慣れている・飲み慣れているものを用意したいものです。また、休憩時間中の糖分補給にチョコレートなどを持参するのもよいでしょう。

15 の眼鏡を試験時間中にかける場合は、受験票と写真票の写真は、眼鏡をかけて撮影したものを用意する必要があります。もし、コンタクトで受験予定だったにもかかわらず、調子が悪く急遽眼鏡を必要とする場合は、試験監督者に申し出ましょう。なお、「耳栓」は試験中に試験官の指示が聞き取れないことがありますので使用が認められていません。

試験会場や教室内の座席によっては、想像以上に寒いことがあります。16 は、試験を快適に受験

できるよう準備しておくといでしょう。ひざ掛けや座布団の使用を希望する場合は、試験監督者に申し出れば使用が可能です。

試験当日の服装は、温度調節しやすいものを選択するといでしょう。現役生の中には、着慣れている学校の制服が緊張しなくてよいという人も多いようですが、温度調節ができるよう重ね着の準備をしておくといでしょう。なお、英文字や地図等がプリントされた衣類は禁止されていますので注意が必要です。

14 は普段使い慣れたものを持参しましょう。当日に新しいことを覚えようとしても慌てるだけです。使い慣れたものを試験前に確認することで、緊張感も和らぐでしょう。ただし、あまりに多くを持ち込むのも考えものです。1教科1～2冊程度に留めた方が、直前に見直すことがはっきりして集中できます。参考書に代えて、試験前用の復習ノートを用意しておいたという先輩もいます。いずれにしても、試験当日に何を持参するか、試験前に何を見直すかは、前日ではなく数日前に決めておくといでしょう。

### 試験会場を確認 ～会場には1時間前の到着を目安に～

できれば事前に試験会場の下見をしておきましょう。当日初めて試験会場に向かうのでは、予想以上に時間がかかったり、受験する教室が分からず迷って遅刻ということにもなりかねません。下見ができない場合には、電車の時刻や所要時間、会場までの道のりを事前に確認しておきましょう。一般入試・共通テストは土・日に実施されるため、交通機関の運行ダイヤが平日と異なる場合があります。下見をする際にもこの点に注意が必要です。

また、当日に雪が降るなど気象による交通機関への影響も考慮し、リスクの少ない経路を選びましょう。前日から気象・交通情報はチェックしておきましょう。

当日は交通機関の遅延なども考慮して、1時間前には試験会場に着くよう余裕をもって家を出発しましょう。早く着くことで、試験場の雰囲気にも慣れ、心に余裕がうまれます。

万が一、電車が事故や雪で遅れるなど不測の事態があった場合、試験時刻を繰り下げることもあります。慌てずに試験会場に向かうことが大事です。

寝坊などによる遅刻で、試験開始時刻に間に合わなかった場合も、試験開始時刻後 20 分以内であれば受験が認められます(英語リスニングは試験開始時刻まで)。

なお、試験は指定された会場以外ではいかなる理由があっても受験できません。必ず、指定された試験会場に向かうようにしてください。同じ高等学校の生徒でも受験教科・科目数などにより別会場となることがあります。必ず自分の受験票に記載されている試験会場に向かいましょう。

共通テストでは、急病(新型コロナ・インフルエンザや風邪など)やケガにより、試験(2日間もしくはいずれか1日)を受験できない状況となった場合、受験票記載の「問い合わせ大学」に連絡をしましょう。受付時間内に限り、追試験(※)の受験を申請することができます。受付時間・申請方法はチェックリスト 2 の「受験上の注意」に記載されています。

#### ※追試験について

追試験は、以下に該当する事由により、本試験の2日間とも受験できないか、どちらか1日を受験できない場合に受験することができます。

- ・病気・負傷により試験を受験できない者
  - ・試験会場に向かう途中の事故により試験を受験できない者
  - ・その他のやむを得ない事由(両親等の危篤・自宅の火災等)により試験を受験できない者
- 追試験の実施期日は1月27日(土)・28日(日)で、本試験とは異なります。後日、受験会場が公表されるので注意しましょう。

なお、追試験の受験教科の単位は2日分又は1日分の教科・科目です。本試験のそれぞれの試験日で1つの教科・科目でも受験した場合は、当該試験日の追試験の対象者とはなりません。

## 試験中に注意したいこと

ここでは共通テストの試験中に気をつけることについて取り上げました。

### 落ち着いて受験するために

試験室に入ったら、机の上の受験番号が受験票の受験番号と同一であることを確認して、着席しましょう。自分の席の確認ができたなら、トイレ等の位置も確認しておきましょう。試験室によってはトイレが遠かったり、数が少なかったりすることもあります。時間に余裕のあるうちにトイレを済ませるよう心がけましょう。

試験時間中、受験票、写真票のほかに机の上に置けるのは黒鉛筆、消しゴム、鉛筆削り、時計、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（中身だけ取り出したもの）、目薬、計算用のシャープペンシルです。参考書などは試験開始前に試験監督から指示が出たら、すみやかにカバンにしまいましょう。

携帯電話等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラーム設定を解除し、電源を切っておきましょう。試験時間中に身に付けていたり、手に持っていたりすると不正行為とみなされることがあります。

### 共通テスト前 受験科目のマークの誤記入に注意

解答用紙には、解答のマーク欄のほかに、解答科目（受験科目）、受験番号、試験場コード、氏名のマーク・記入欄があります。いずれも試験開始直前に試験監督の指示に従い、マーク・記入することになります。とくに受験科目にマークされていなかったり、複数科目がマークされていたりすると0点になってしまいますので、注意したいところです。

なお、試験終了直後に、再度受験科目がマークされているかを確認する時間が設けられています。誤りや未マークである場合には、手を挙げて試験監督を呼びましょう。立会いのもと修正することができますので、落ち着いて指示に従いましょう。

入室終了時刻を過ぎると、試験終了まで退室は認められません。試験中にどうしてもトイレに行きたくなった場合は、監督者付き添いのもと、行くことは可能です。ただし、試験時間の延長は認められませんので、トイレ等は休憩時間に早めに済ませておきましょう。

### 自分の解答は問題冊子に転記を忘れずに

共通テストの得点は、4月以降にならないと開示されません。そこで、試験後に公表される解答・配点を見て、自分で採点（自己採点）をする必要があります。問題冊子は持ち帰ることができますので、自分の解答は問題冊子の各設問の選択肢に丸をつけるなどして、試験中に転記しておきましょう。

共通テスト後の出願校の検討には、自己採点した得点が欠かせません。採点ミスにより数点差があるだけで、合格可能性が大きく変わってしまう場合があります。転記ミスや転記漏れに気をつけましょう。

### 受験科目の選択・解答順は先に決めておく（共通テスト）

いずれの登録教科も試験開始後に問題冊子を見てから受験科目を決めることができます。しかし、志望校の「指定科目」「成績利用方法」を考慮したうえで受験する必要があるため、実際には受験する科目は事前に決めておかなければいけません。なお、地歴・公民では、「世界史A」と「世界史B」、「倫理、政治・経済」と「倫理」など、同一名称を含む2科目を選択することはできません。

理科②または地歴・公民を2科目受験する予定の受験生は、選択科目の解答順に注意が必要です。理科②、地歴・公民を1科目のみ合否判定に利用する場合、成績の利用方法は「高得点科目の成績を利用する」大学と「第1解答科目（※）の成績を利用する」大学があります。国公立大の多くは「第1解答科目」の利用を表明していますし、私立大でも難関大を中心に「第1解答科目」の成績を利用します。「第1解答科目の成績利用大学」に出願する場合、選択可能な科目を必ず「第1解答科目」で受験しておかなければなりませんし、受験した2科目とも選択可能な科目であっても高得点となり得る科目を「第1解答科目」で受験しておきたいものです。どちらの科目を「第1解答科目」で受験するのは、試験開始後に決めることができますが、以上の理由から事前に決めておく必要がある

でしょう。

遅刻についても注意が必要です。理科②、地歴・公民で2科目受験を登録した場合は、2科目で1教科の扱いです。1科目め開始 20 分後まで、つまり地歴・公民なら 9 時 50 分、理科②なら 16 時までに入室しないと1科目めのみならず、2科目めも受験できなくなります。また、理科②、地歴・公民を2科目受験すると登録して、試験当日に1科目だけ欠席する(受験しない)こともできません。

理科、地歴・公民の第1解答科目と第2解答科目の間の 10 分間は休憩時間ではありません。問題冊子を開くことができないほか、トイレ等で一時退室することも認められていません。試験時間は全部で 130 分と考え、トイレ等、必要なことは試験前に済ませておきましょう。

### ※第1解答科目と第2解答科目について

共通テストでは、理科②、地歴・公民の2科目受験者の試験を前半 60 分と後半 60 分に分けており、前半に解答した科目を第 1 解答科目、後半を第2解答科目と呼びます。

### リスニングの注意事項

英語リスニングは試験の性質上、遅刻は認められていません。試験開始時刻である 17 時 10 分以降は入室できません。ICプレーヤーの操作準備は、解答用紙裏面の表示に従い、受験者が各自で行います。機器の操作方法については、受験案内の 43 ページを参照するか、大学入試センターのホームページにある「ICプレーヤー操作ガイド」を利用し、事前に確認しておくといでしょう。

解答は設問ごとに解答用紙にマークしましょう。音声の再生終了とともに試験が終了するので、他教科のように解答を問題冊子に記入しておいて最後にまとめてマークする時間はありません。ICプレーヤーからイヤホンが抜けたり、耳からはずれたりして、その間音声聞き取れなかったとしても救済措置はありません。くれぐれもICプレーヤーを机から落とすなどしないようにしましょう。

ICプレーヤーのボタンを長押ししてもランプが光らない、音声が流れない、音声が聞き取れない、問題冊子の印刷が不鮮明で解答に支障があるといった場合は、ためらわずに手を挙げて試験監督に知らせましょう。試験終了後に、音声の不具合を申し出ることはできません。

解答時間中の質問は一切受け付けられませんが、試験監督に申し出なければならない事由が発生したら、黙って手を挙げて知らせましょう。試験監督とのやり取りは、周囲の解答者の妨げとならないよう、声を出さずに所定の用紙を使用した筆談で行われます。「試験監督の指示に従わず、ICプレーヤーを操作する」「ICプレーヤーの故障について虚偽の申し出をする」「ICプレーヤー・音声メモリーを試験室から持ち帰る」といった行為は不正行為となることがありますので注意してください。

### 不正行為について

カンニングはもちろん、以下の行為なども不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできません。また、受験したすべての教科・科目の成績が無効となります。

### 不正行為となること

- 1 志願票、受験票・写真票、解答用紙へ故意に虚偽の記入をする
- 2 配布された問題冊子を、試験時間中に試験室から持ち出す
- 3 解答用紙を試験室から持ち出す
- 4 「解答はじめ」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答をはじめ
- 5 「解答やめ。鉛筆を置いて問題冊子を閉じてください」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続ける



## Team45 のつぶやき 担当 ; 常盤 将宏

教師をやりだしてお世話になった先生から教えてもらった言葉に『着眼大局・着手小局』という言葉があります。この言葉の由来は中国の思想家である荀子の言葉です。物事を成し遂げるときには大きな目標(大局)をみて、それを達成するためには目の前の細かいこと(小局)からコツコツと行動し、計画を少しずつ進めていくことで成功に近づいていくという言葉です。みんなは冬休みを目前に、一般入試での合格という大局を成し遂げるために、どれだけ細かい小局を分析して、焦ることなく一つ一つ丁寧に自分の力をつけるために取り組むことができますか?ただ漠然と頑張ることは小局の積み重ねにはなりません。大局を成し遂げることができる人に成長するためにどうすればいいのか、しっかりと逆算して確実に成長する階段を1段1段登って行ってください。残された日数は少なく感じる人も多いかもしれませんが。僕も高3の時は残りの日数が気になるときもありましたが、そのたびにテスト1週間前の勉強を必死にやっただけで学力が向上するのだから、まだ何週間も時間があると自分に言い聞かせ、焦ることなく1日を大切に組み 12 月から本番までにかなり成長することができました。現役の勝負はこれからです。しっかりと小局を積み重ねみんなで大局を成し遂げましょう。

谷先生から始まった45回生のつぶやきも次でラストになります。最後は主任からのありがたいお言葉で締めくくってもらいましょう。

## 最後まで手を抜きません!!

12月6日(水)から期末考査が行われます。しっかり準備をしましょう。

12月6日(水)	12月7日(木)	12月8日(金)	12月11日(月)	12月12日(火)
1 限	1 限	1 限	1 限	1 限
現文 (文・理・LAC)	コミュ英Ⅲ (文・理・LAC)	基礎生物 (文)(LAC) 生物(理) 物理(理)	英語表現Ⅱ (文・理・LAC)	数学Ⅱ(文) 数学Ⅲ②(理) 数学Ⅱ基礎 (LAC)
2 限	2 限	2 限	2 限	2 限
日本史B(文) 世界史B (文・LAC) 化学(理)	発展国語 (文)(LAC) 化学の広場 (文)(LAC) 発展数学(理) サイエンス(理)	発展英語 (文・LAC) 地理(理)	発展日本史 (文) 発展世界史 (文)(LAC) 倫理 (文)(LAC) 発展数学 (文)(LAC) フランス語 (LAC) 世界史A(理)	古典 (文・理・LAC)
3 限	3 限	3 限	3 限	3 限
	数学探求 (文)(LAC) 現代社会 (LAC)	政治経済 (文)(LAC) 数学Ⅲ①(理)		